

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和5年度第11号(通巻85号) 2月22日発行

【シリーズ】キャリア教育 初めての現場実習 (高等部一般学級1年生)

各学習グループ毎にキャリア教育の取組を紹介する「シリーズキャリア教育」今回は高等部一般学級1年生が取り組んだ「初めての現場実習」についてご紹介いたします。

本校高等部一般学級では、3年間に5回の現場実習を実施します。校外に出かける現場実習は生徒にとっては緊張の連続であり、相当の努力が必要な学習ですが、それを乗り越えた経験はときに見違えるほどの大きな成長につながる大切な節目となります。この確かな成長のためには現場実習の経験と、事前、事後の学習をうまく結びつけることが重要です。

高等部一般学級1年生で取り組んだ、「現場実習」とその前後の学習は以下のとおりです。

学習の構成

※それぞれに1週間を費やします。

① 事前学習 ⇒ ② 校内実習 ⇒ ③ 現場実習 ⇒ ④ 事後学習

① 「事前学習」

はじめに進路指導担当者から話を聞き、働くことの意義や心構えを学びます。つぎに、それぞれ現場実習中の「3つの目標」(仕事面・コミュニケーション面・家庭生活面)を立てます。クラスメイトの意見を参考にしたり、教師との面談をとおして具体的に決め、目標宣言会で保護者や同級生に向けて、努力を誓いました。



最後に、実習先へ挨拶と打ち合わせのために実習先を訪問し、実習に見通しがもてるようにします。人との会話が大好きな生徒が事前挨拶では、終始うつむき一言も発しないことがありました。日頃からの基本もさることながら、経験の積み重ねの大切さを感じるエピソードでした。

② 「校内実習」 ～学校が会社に！～

教師はそれぞれ、所長、指導員、同僚役となり、生徒に接します。

生徒は新人役となり、職場におけるルールやマナーを実践的に学べるように環境を整えます。勤務時間を意識しながら、私語をせずに集中するなど任された仕事に専念する経験を積んだり、所長や同僚役の教師に丁寧な言葉遣いで報告、連絡、相談をするロールプレイを繰り返したりします。また、タイムカードを使用し、労働時間を確認したり、休み時間には、きちんと休んで切り替えをしたりして、基本的な労働習慣を学んでいきます。

③ 「現場実習」 ～生徒の努力をみんなでサポート～



「実習の一コマ 調理補助(包丁を使って)」



「実習の一コマ パン販売・接客」

1年生は、それぞれ20ヶ所に分かれて実習しました。(A型7名・B型8名・生活介護5名)一人で初めての場所で活動する生徒たちを支えるためには、学校、家庭、実習先がそれぞれの考えを理解し、協力することが大切です。教師の役割は実習先、生徒、家庭の橋渡しをすることと言えます。

現場実習期間中は担任が「巡回指導」を行います。現場で担当の方に生徒の様子を聞き、体調が悪くないか、困っていないかなどを本人に確認をし、「普段の頑張り」が実習先でも出せるように言葉掛けをしていきます。また、実習日誌を確認し、書き方の指導をするとともに実習日誌に記入してくださる担当者の感想から事業所がどのようなことを希望をされているのかを生徒に伝えます。担当者の方には、学校での日頃の様子などを伝えたり、改善のポイントになりそうな提案をしたりして理解を深めてもらうようにします。

④ 「事後学習」～振り返り、次の課題をみつけレベルアップを図ります～

事後学習では、自己評価、実習先での評価、教師からの評価、家庭からの評価を丁寧に振り返り、成果と課題を明らかにすることが必要です。

そのためには教師との面談をとおして、ていねいにフィードバックしていく過程を大切にしています。

生徒たちは実習日誌で事業所から受けた『評価』の中から次の課題を見つけます。事前学習で立てた3つの目標（仕事面・コミュニケーション面・家庭生活面）の達成状況を確認し、次の課題としての目標にしていきます。

報告会では、3つの目標の達成状況とこれからの目標を発表します。また、実習前にはできなかったことがうまくいくようになったことなどの成果も発表し、成長を自覚し自信につなげていきます。



最後に、生徒の確かな成長を支えるためには、実習後に立てた目標を生徒、家庭、学校が共通理解しておくことが大切です。ご家庭でもお子様の実習後に立てた今後の目標について把握しておくとともに、以下の項目などをお子様と話していただき、気力、体力の向上、健康の保持増進、心の安定の向上に向け、ご協力いただくと幸いです。

ア) 基本的な生活習慣の確立（決まった時間に起床、食事、就寝など）

イ) 家庭での手伝いの励行、挨拶等の習慣化

ウ) 体調・心身の安定や丁寧な言葉づかい

など。

<編集後記>

今年度より、高等部一般学級は、高一般校舎（岱志高校内）で学校生活を送ることになりました。小学部、中学部、重複学級の皆さんには高等部一般学級の生徒たちがどのように生活しているか、見えづらい面があると思います。そこで、「進路実現」に向けて一番近い高等部がどのように「進路」活動しているのかお伝えしたく作成しました。（奥村）

進路に関する、疑問・質問は右のQRコードから、どしどしお寄せください



しんろ目安箱

【参考資料】

高等部一般学級の行動規範「キャリアアップチャレンジ5」の紹介

高等部一般学級では、将来の社会参加に向けて、生徒に身につけてほしい行動規範を「キャリアアップ・チャレンジ5」と名付け、日頃からさまざまな場面で取り上げ、実践を促しています。

特に現場実習(校内実習)を終えた生徒の反省の中には、これら5つの行動の大切さと難しさを実感したものが多くことから、生徒に関わるすべての関係者が、5つの行動の大切さを理解し合い、連携した指導を継続することが求められます。

ここでは、キャリアアップチャレンジ5と、それぞれの行動を見る観点についてご紹介しますので、この機会にお子様の行動についてチェックしてみましょう。

荒尾支援学校 高等部生徒の行動規範 キャリアアップ チャレンジ5

- 1 気持ちいい あいさつ へんじ
- 2 きちんとした 身なり
- 3 ていねいな ことばづかい
- 4 時間・約束を まもろう
- 5 そうじ・かたづけ



1 「気持ちいい あいさつ へんじ」について

下の4つのポイントを読んで、お子様のあいさつをチェックしてみましょう。

- 担任以外の先生にもあいさつ・へんじができますか。
- 実習先やデイサービスでも あいさつ・へんじができますか。
- あいさつされたら、必ずあいさつを返すことができますか。
- 相手の方を見て、笑顔であいさつできますか。

2 「きちんとした 身なり」について

下の3つのポイントを読んでお子様のことをチェックしてみましょう。

- 服装のきまりを守っていますか。
- 毎日きれいに洗濯した服をきていますか。
- 毎朝鏡を見て 顔・髪の毛、身だしなみのチェックをしていますか。

3 「ていねいな ことばづかい」について

下の3つのポイントを読んでお子様のことをチェックしてみましょう。

- 「です。」「ます。」が使えていますか。
- 敬語や、丁寧な言葉が使えていますか。
- 大人に友達言葉で話していませんか。

4 「時間・約束をまもろう」について

下の4つのポイントを読んでお子様の行動をチェックしてみましょう。

- 遅刻や欠席をせず通学できていますか。
- 5分前行動など、時間を意識して行動できていますか。
- 学校やクラスのきまり、世の中のルールを守ることができていますか。
- 家庭の中の自分の役割をきちんと果たしていますか。

5 「そうじ・かたづけ」について

下の2つのポイントを読んでお子様のことをチェックしてみましょう。

- 汚したら掃除する習慣がついていますか。
- 身のまわり(引き出しの中・かばんの中・自分の部屋)は片付けていますか。